



ムトー精工中国工場 松丸総経理

早い段階での生産管理システムの導入を計画していた。日立「GEMPLANET/WEBSKY 軽舟」(以下、WEBSKY)の導入決定から稼働まで、僅か二か月半という速さで実現した大きな理由の一つである。

ムトー精工が生産管理システムを重視するのは、より高度化する技術ニーズ、品質へのこだわり、確実な納期への対応にある。「納入先の大手デジタル家電メーカーからは、品質、納期をはじめ厳しい条件を日々要求される。生産管理システムがないと極めて困難」(松丸総経理)という判断による。

ムトー精工の設立は一九五六年だが、生産管理システムでは先駆的に導入してきた歴史を持っている。創業者の武藤昭三会長は、工場では殆ど生産管理システムが導入されていない時代に、自社でシステムを開発し導入した。ムトー精工にとって生産管理システムとは、「人がシステムを生かす」のであ

り、決してその逆ではない。超精密の工作機械を使う作業でも、「最終的には人間の目が大切」という考え方を明確にしている。

日立のサポート体制を信頼 本社、中国工場、日立が三位一体でスピード導入実現

工場稼働から出来るだけ早期に生産管理システム導入を予定したムトー精工が、WEBSKYを選択した大きな理由は、日立の中国でのサポート体制と、スピード導入が可能な点に加えて拡張性が優れている点にある。ムトー精工は本社システム部門で日立と付き合いがあり、「日立が中国でもサポート体制を確立」という情報をもとに、WEBSKYに絞っていた。日立も日立情報システム(上海)有限公司・ERP部第2課課長、米家信行氏を中心に、工場建設を準備する段階からムトー精工中国工場に様々なサポートを行った。

更に、昨年二月の上流工程コンサルティング開始時から、ムトー精工本社の情報システム室長である加藤誠司氏、中国工場の松丸総経理、日立が三位一体でプロジェクトを推進するとうう、スピード導入の条件が揃っていた。「松丸総経理、加藤室長ともに、生産管理システムとは何かを驚くほど熟知。システムを動かすのは人自身だと分

たな部品を生産し、単月度黒字化をめざしている。現在、社員数三七五名、月末には五〇〇名体制になる予定だ。生産した部品はすべて大手メーカーの上海調達部門に納入、技術、品質の高さにより、他メーカーからも引き合いがある。「中国でも競争は激しい。日系の部品工場でも競争に負けていけない企業は少なくない」(松丸総経理)というのが現実だ。

中国事業推進室設置から工場稼働まで、僅か一年半

ムトー精工(本社・岐阜県各務原市、田中肇社長)が中国事業推進室を設置したのは〇三年五月で、デジタル家電、自動車産業はじめ納入先企業の海外進出に対応し、中国で生産、供給する体制を早急に整備するためである。

現在、中国工場(豊武光電(蘇州)有限公司)で董事・総経理を務める松丸公則氏は、中国準備室の室長として、「垂直立ち上げ」に奔走した。豊武光電(蘇州)有限公司には、ムトー精工と台湾地区の金型メーカー、豊新国際科技有限公司が五〇%ずつ出資しているが、実際の経営管理ではムトー精工が中心を担う。

ムトー精工はベトナムにも工場を有し、「ベトナムは日本のサポート工場」という性格が強いが、中国工場は「現地での日系企業などが納入先」という位置づけだ。

松丸総経理は、通訳と二人だけという白紙状態から、工場用地確保、建設業者の選定まで、コンサル会社をも使わずに奔走、中国準備室の設置から僅か一年半で本格稼働を実現させた。

ムトー精工中国工場は、工場完成と同時に、デジタルビデオの外装部品の生産を開始、早くも月産二〇万台の生産能力に引き上げた。今年六月には新

かっている」(日立(中国)有限公司・営業開発センター高級経理、中村和也氏)と、システム導入の根幹の精神に通じていた。

中国人スタッフの活躍で早期安定稼働へ

生産管理システムを実際に日々運用担当するのは、ムトー精工・中国工場の若い中国人スタッフ達である。松丸総経理は、「仕事を早く覚えてもらうのが何より大切だが、皆が期待にこたえてくれている」と、ローカルスタッフを高く評価している。「単月度黒字に短期間でこぎつける」という目標が出せるのも、ローカルスタッフの能力への信頼があるからだ。

一方、日立側でも中国人スタッフの活躍で、効率的にシステム開発、運用教育を進めることが出来た。システム開発は、日立情報システム(上海)有限公司の

日立情報システム(上海)有限公司
 上海市茂名南路205号瑞金大厦2401号
 TEL: (021) 6473-1244 (内線107) FAX: (021) 5456-2339
 E-mail: websky@hiss.cn http://www.hiss.cn

超・世界水準めざすムトー精工中国工場

日立「GEMPLANET/WEBSKY 軽舟」をスピード導入



松丸総経理(前列中央)とスタッフ達

超 精密プラスチック成形加工の技術、品質において世界水準を上回るという目標を掲げるムトー精工株式会社は、ミクロン単位の精度による一貫生産と検査・管理体制を実現する日本の「ものづくり」を代表する企業だ。ムトー精工は、昨年一月から本格稼働した中国工場「豊武光電(蘇州)有限公司」に日立「GEMPLANET/WEBSKY 軽舟」を導入、工場稼働当初から超・世界水準の技術、品質の実現をめざしている。

ムトー精工中国工場は導入決定からわずか二か月半でシステムを稼働させたが、変化の激しい中国経済で、システム導入を短期間で実現するメリットは計り知れない。二か月半でシステム導入を成功させ、生産業務の管理基盤を確立したユーザー事例を紹介する。

超・世界水準での技術、品質を掲げるプラスチック成形加工のムトー精工は、日立「GEMPLANET/WEBSKY 軽舟」のスピード導入により、中国工場の稼働直後から超精密の品質を実現する一貫生産と検査・管理体制を確立している。

中国工場準備段階から生産管理システム導入を計画

ムトー精工は、中国工場の準備段階から松丸総経理と本社のシステム部門が中心となり、工場稼働から出来るだ



最先端機器による精密加工



組立工程

たな部品を生産し、単月度黒字化をめざしている。現在、社員数三七五名、月末には五〇〇名体制になる予定だ。生産した部品はすべて大手メーカーの上海調達部門に納入、技術、品質の高さにより、他メーカーからも引き合いがある。「中国でも競争は激しい。日系の部品工場でも競争に負けていけない企業は少なくない」(松丸総経理)というのが現実だ。